

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	恒川・高岡遺跡群調査活用事業	会計	一般会計	事業No.	748	施策順No.	29-005	
		事業種別	政策・その他	予算科目	10-5-3-11-2			
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり			課等名	生涯学習・スポーツ課			
施策	29 ふるさと意識の醸成			事業期間	開始	13	終了	25

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	恒川・高岡遺跡群						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		遺跡数	11	11	11	11	11	
意図	調査・研究して、遺跡の重要性を市民に知ってもらう							
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	学習会・見学会等出席者数	242	250	200	200	1091	200	B
	調査した遺跡箇所(単年度:箇所)	2	1	0	2	1	2	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	22年度は範囲確認調査を1箇所実施したが、伊那郡衙の郡庁確認には至らず、23年度に調査範囲を拡大して検討することとした。それ故、現地での見学会等は次年度への持ち越したが、上郷考古博物館での秋季企画展及び関連講座に全面協力し、多くの地域の方々に恒川遺跡群を理解していただく機会となった。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	座光寺地区に所在する恒川遺跡群は、これまでの調査で正倉・館等の遺構が確認されており、奈良時代から平安時代にかけての地方官衙「伊那郡衙」であることが明らかになっている。県内で確認された官衙遺跡は岡谷市の榎垣外遺跡と恒川遺跡群のみで、全国的に注目されている遺跡である。また、隣接する高岡遺跡には泉史跡である高岡1号古墳等が存在し、郡衙成立前段の様相を明らかにし得る重要な地域の一つとして県内外からその調査動向が注目されている。このため、文化庁からは正倉域の範囲や郡庁域についてその確認が最優先課題であると指導されており、国・県の補助を受けた調査を継続している。このように、全国的に注目されている恒川遺跡群の調査を通じて当地域が果たした役割を解明することは、日本史的にみても当時の律令社会を理解するうえで重要な意味をもち、その内容を地域の方々に還元することにより、郷土に対する愛着を深めることができる。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 郡庁および官衙関連施設確認のための調査(遺構の確認調査により官衙中心部の把握に努める) 2 公民館・地域団体と連携した現地学習機会の提供および教材提供、出前講座の実施 3 個人住宅建設に先立ち発掘調査の実施 4 上郷考古博物館秋季企画展への協力 5 文化庁調査官による現地視察・指導	1 発掘調査箇所 2 学習会等の開催・連携 3 発掘調査箇所 4 入館者数 5 視察回数	1 1カ所 2 6回 3 1カ所 4 612人 5 1回
23年度実施計画	1 郡庁および官衙関連施設確認のための重点調査(遺構の確認調査により郡庁および正倉の範囲把握に努める) 2 22年度確認調査地点の整理作業実施 3 公民館・地域団体と連携した現地学習機会の提供および教材提供、出前講座の実施 4 個人住宅建設に先立ち発掘調査の実施 5 正倉域より出土した炭化米・炭化材の自然科学分析	1 発掘調査箇所 2 整理作業件数 3 学習会等の開催・連携 4 発掘調査箇所 5 分析回数	1 1カ所 2 1件 3 3回 4 1カ所 5 1回

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 (国)文化財保護補助金(埋文発掘)(1/2)1,000千円 (県)文化財保護補助金(埋文発掘)(4/100)100千円
	国庫支出金		1,000	1,000	2,500	
	県支出金		100	100	200	
	起債					
	その他					
一般財源			904	900	2,303	
計(A)		2,004	2,000	5,003		
正規職員所要時間				1,500		
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)				5,364		
トータルコスト A+B				7,364		

4 事業に対する市民や議会の意見

市民からは、いくら重要だといっても地中にあるは見ることができないので目に見える形にしてほしいとの要望が、また、地元史学会をはじめとして、施設をふくめた史跡整備の要望がある。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	①地域を知る ②地域を誇りに思う	施策の成果指標又はムトス指標	飯田の自然・歴史・文化を学んでいる市民の数(延べ人数) ふるさと(飯田)を誇りに思っている市民の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	遺跡群を理解しその内容を解明することは、学習機会の提供を通じ郷土(歴史)を知り地域を誇りに思う気持ちを養うことにつながっている。		
	後期に向けた課題	遺跡群の全容解明までには至っておらず、その早急な解明と市民に向けた情報発信が必要である。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・これまでに調査を実施して得られた成果を整理し、報告書としてまとめた。 ・市民向け講座等で、得られた成果を市民に還元するとともに、情報発信した。		
	後期に向けた課題	確認調査結果のみならず、自然科学的分野等様々な観点から遺跡群を分析し、実態をさらに明らかにしていく。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	入札等による調査費用等のコスト削減を実施している。		
	後期に向けた課題	引き続き、同様な手法でコスト削減に努める。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	地域の資源を資産化する事業であり、受益者は共有の財産を保持し将来の文化的向上発展に浴する市民で、市の関与は適切である。		
	後期に向けた課題	特になし。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	①主体は市と地区である。市は確認調査を継続実施し、遺跡群の内容を明らかにする取り組みを行っている。座光寺地区は、「麻績の里振興委員会」や「高岡の森保存会」等の組織が中心となって、地域にある歴史・文化・自然に関わる資源を活用した地域振興に取り組んでおり、遺跡群の歴史的な理解を深めるために学習会や保存活動を実施している。②市では地区の取り組みに対し、会議への参加や学習会等への講師派遣を通じて専門的な立場での活動支援している。		
	後期に向けた課題	専門的な立場での活動支援を継続すると共に、遺跡群の保護・活用について協働して取り組んでいく。		
全体を通じて	4年間の振り返り	これまでの調査で得られた成果を整理する中で、遺跡の全容解明に少しづつではあるが近づいている。また、遺跡群に対する地域住民の関心が高まり、地域独自の活動が活発で、事業の推進を後押ししている。		
	後期に向けた課題	遺跡群の保護・活用の面から全容解明が急務であり、地域との協働を視野に入れた中長期的な事業計画の作成が必要。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ある	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ある
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	--	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------